

北星まちづくり推進協議会 会議録 令和6年度第2回

会議概要	
日時	令和6年11月28日(木曜日) 午後6時30分から午後7時45分まで
場所	北星地区センター大ホール
出席者	委員（14名、副会長以外は50音順） 森副会長、相澤委員、市場委員、小笠原委員、小川委員、佐藤委員、白崎委員、 田中委員、西館委員、坂東委員、三上委員、宮津委員、門間委員、渡邊委員 (欠席者 中村会長、青塚委員、井上委員、工藤委員、後藤委員、竹内委員、 土井委員、渡辺委員) オブザーバー 地域まるごと支援員 事務局 地域活動推進課 岩崎次長、小松主幹、小熊主査 防災課 竹内主幹、大西主査 北星公民館 五十嵐館長
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第 資料1 地域まちづくり推進協議会の在り方について 資料2 令和6年度の北星地域事業報告 資料3 イオン旭川春光店「幸せの黄色いレシート」事業への参加について

議事の内容

1 開会

欠席者の報告、配付資料の確認。

中村会長欠席のため、森副会長が代理となり議事進行。

2 議題

(1) 地域まちづくり推進協議会の在り方について

資料1に基づき、事務局から旭川市地域まちづくり推進協議会（以下、「協議会」という。）の在り方について説明を受けた。

質疑応答の要旨は以下のとおり。

【委員】

- ・企業からの協賛金を得て事業実施することに制約はあるか。また地域内企業を積極活用して事業を進めていくってはどうか。
- ・協議会の認知度向上に向け、情報発信（SNSなど）を積極的に行い、若い委員の確保に取り組むのはどうか。
- ・新たに就任した協議会委員に対しても、アンケートや意見交換などを積極的に行ってほしい。

【事務局】

- ・事業実施主体の各実行委員会において、協賛金等を活用して事業実施することに特に制約はない。地域内企業の活用も含め各実行委員会で積極的に協議願いたい。
- ・協議会の状況については市のホームページにて会議録含め公表している。また、若い委員の確保に向けては、今年度出前講座として、市内の高等学校等へ出向き取り組んでいるところ。
- ・令和4年度にアンケート、令和5年度に意見交換を行ったまとめを今回報告させていただいたが、今後も適宜、委員の方からいろいろな形で意見をお聞きしていきたい。

【委員】

- ・各実行委員会で受けた補助金のルール（特に補助対象経費）がわかりにくい。

【事務局】

- ・事業計画を立てる中で、かかる経費も事前に見えてくると思う。食糧費を含めた対象外経費については補助金の要綱で定めているので、わかりやすい説明に努めたい。

【委員】

- ・過去に旭川市総合計画審議会の委員に就いたことがあるが、次期総合計画に地域課題への取組みを盛り込むことで、予算確保や事業が進めやすくなるのでは。

【事務局】

- ・まちづくり基本条例に基づいて総合計画が策定されているが、現状でも条例や基本計画の中に市民主体のまちづくり、地域主体のまちづくりを推進する旨が盛り込まれている。今後も人口減少や少子高齢化の進展で地域課題への対策は重要となってくる。そうしたことから、委員の皆様への期待もますます高まっていると思うので今後もご協力をお願いしたい。

(2) 令和6年度の北星地域事業報告について

資料2に基づき、北星地域の3つの実行委員会である「北星6地区防災事業実行委員会」(三上委員長)、「北星まちづくり地域福祉ネットワーク」(宮津委員長)、「北の散歩道環境保全事業実行委員会」(森委員長)の各委員長から、今年度事業の実施状況について報告があった。事業取組みへの工夫や事後の振り返りに伴う課題などが述べられ、次年度の取組みへつなげたいとの発言がそれぞれの委員長からあった。各委員から特に発言はなく、資料のとおり確認された。

(3) イオン旭川春光店「幸せの黄色いレシート」事業への参加について

資料3に基づき、森副会長からイオン旭川春光SC「幸せの黄色いレシート」事業への参加について説明を受けた。

【委員】

- ・イオン旭川春光SCの同事業について補足して説明あり。「幸せの黄色いレシート」事業については開店後、少し間をおいてからのスタートとなったが、テナント店で発行されるレシートも対象となっているので、積極的にご活用願いたい。

3 その他

議事の前に、防災課から次年度の行政提案事業（逃げ遅れゼロの地域づくりプロジェクト）の北星地域内での実施見通しについて説明があった。

事務局から、次の2点について説明があった。

- 1、報酬について
- 2、次回の日程について

4 閉会